

第5学年〇組 学級活動(1)指導案

日 時：令和6年〇月〇日(〇)第〇校時

場 所：5年〇組教室

授業者：〇〇 〇〇

1 議題「2学期がんばったねの会をしよう」

(ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決)

2 議題について

(1) 児童の実態

本学級の児童は、明るく元気な児童が多い。休み時間の様子では、ほとんどの児童が元気よく外遊びに出ており、男女問わず遊んだり、仲良く会話をしたりしている。授業の様子では、友達と話し合ったり教え合ったりするなど協力して学習に取り組む姿が多く見られる。しかし、自分の考えに自信がもてずクラス全体に発表する場面では、躊躇してしまう児童が多い。

学級会についてアンケートを実施したところ、学級会が好きだと回答した児童は8割を超えていた。一方で自分の意見を言うことが苦手だと回答する児童が2割ほど見られた。理由としては発表への苦手意識や恥ずかしさ、受け入れてもらえるか不安という意見があった。

1学期の話合い活動では、「進級おめでとうの会をしよう」「夏祭りを開こう」などを議題として行ってきた。話合い活動を重ねる中で、計画委員を中心に協力しながら話合いを進めることができるようになってきた。しかし、自分の意見を強くもっている一部の児童だけが発表する状況になってしまったり、意見をもっているのに伝えることができずに終わってしまったりと、全員が自分と相手の両方の意見を大切にした上での合意形成になっていないのではないかと感じている。

以上のことから、全員が当事者意識をもって話し合い、自分と相手の両方の意見を大切にした上でよりよい合意形成ができるように、児童にとって必要感のある議題の選定や考えを誰かに伝えやすい風土・環境づくりなどを継続して行っていく必要がある。

(2) 議題選定の理由

本議題は、学級活動(1)「学級や学校の生活づくりへの参画」のA「学級や学校における生活上の諸問題の解決」に関わるものである。「宿泊学習や社会科見学など行事が多かった2学期を協力して乗り越えることができたことを喜び合ったり認め合ったりする会をして、3学期につなげていきたい。」という児童の提案によるものである。「会で何をするのか」「会を盛り上げる工夫」「どんな係が必要か」の3つの話合いの柱を通して、自分と相手の両方の意見を尊重し、折り合いをつけながら話合いを進められる力を育成したい。また、会に向けての準備や運営をする中でクラス全員が同じ方向を向いて会を作りあげることができた達成感や会を通して互いを尊重し合うことの大切さを味わわせたい。

3 研究課題との関わり

(1) 研究課題

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

(2) 研究の視点

主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくり
～特別活動の「見方・考え方」を働かせた話し合い活動の充実～

(3) 研究課題解決のための視点と手立て

視点Ⅰ 自ら課題を見出し、適切に議題を設定することで、児童が当事者意識をもって主体的・対話的で深い学びを実現できる。

手立て① 議題設定案カードの提示により、児童の議題設定をサポートする。

手立て② 提案理由をキーワード化することで、自分たちの課題・話し合う理由が明確になりクラス全員が当事者意識をもてるようにする工夫。

視点Ⅱ 自分の思いを相手に伝えたり、相手の思いを受け取ったりする経験を積み重ねれば、よりよい人間関係の形成や集団生活の構築に繋がる話し合い活動になる。

手立て① 話し手が安心して発表できる雰囲気を作るための聞き手の姿勢の工夫。

手立て② 学級会ノートに児童が自信をもって発言できるように教師が励ましや助言をコメントする工夫。

手立て③ 提案理由をキーワード化することで児童が自分の意見を伝えやすくする工夫。

視点Ⅲ 話合ったことを実践すれば自分が集団に参画し、主体的に関わろうとする姿勢を醸成することができる。

手立て① 実践を通して自分たちが成し遂げた達成感と喜びを共有し、振り返ることによって次の実践に繋げる工夫。

4 第5学年及び第6学年の評価規準

よりよい生活を 築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
みんなで楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。 合意形成の手順や深まりのある話し合いの進め方を理解し、活動の方法を身に付けている。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、問題を発見し、解決方法について多様な意見のよさを生かして合意形成を図り、信頼し支え合って実践している。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己のよさを発揮し、役割や責任を果たして集団活動に取り組もうとしている。

5 事前の活動

日時 活動の場	児童の活動 ○計画委員会●全員の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】(評価方法)
○月○日(○) 昼休み	○議題を選定する。 (提案された議題) 「2学期がんばったねの会がしたい」 ※2学期は様々な行事や高学年	・議題選びの視点を念頭に置いて選定することを指導する。	◎よりよい学級生活をつくるために進んで議題の選定をしようとしている。【態】 (提案カード・観察)

	として下級生の見本となる場面が多くあり、その都度メリハリをつけながらみんなで協力して頑張ってきたのでそのことをみんなで労いたいから。		
帰りの会	●議題を確認し、決定する。	・計画委員会の提案のもと、学級全体で決定する。	◎学級生活をよりよくするために、進んで議題を考えたり、選んだりしようとしている。 【態】(観察)
○月○日(○) 昼休み	○活動計画を作成する。 (提案理由、めあて、決まっていること(条件等)の確認) ○学級会の進行の仕方を確認する。 ○学級活動コーナーに掲示する。	・実態を踏まえ、日時や場所などの条件を教師が設定する。 ・提案者の思いや願いを学級全体の共通の問題になるように提案理由をキーワード化して掲示する。	◎計画委員会の役割、2学期がんばったねの会に向けた話合いの進行の仕方等を理解している。【知・技】(活動計画・観察)
○月○日(○) 学級の時間	○話し合うことを全員に知らせる。 ●学級会ノートに自分の意見を記入する。	・提案理由とめあてを踏まえた自分の考えを記入するように伝える。	◎自分事としてとらえ、自分の考えをもっている【態】(学級会ノート、観察)
○月○日(○) 昼休み	○全員の学級会ノートに目を通し、書かれた意見を整理する。	・話合いの見通しがもてるようにあらかじめ短冊に記入させる。	
○月○日(○) 帰りの会	●学級会ノートを受け取る。	・自信をもって発言できるように、学級会ノートに励ましの言葉や助言等を記入する。	

6 本時の展開

(1) 本時のねらい

よりよい学校生活を送るため、2学期の頑張りを労い、3学期もクラスのみみんなと頑張ろうと思えるよう、相互の意見を大切にしながら、計画を考えることができるようにする。

(2) 児童の活動計画

学級会 計画ノート

第○回 ○月○日(○) ○時間目

議題	2学期がんばったねの会をしよう		
提案理由	2学期は、社会科見学や宿泊学習などたくさんの行事がありました。5年○組みんなでメリハリを意識して協力しながら過ごすことができました。そのため、2学期がんばったねの会で、おたがいのがんばりを喜び合ったり認め合ったりする活動をすることで、3学期もみんなとより仲よくスタートできると思い、提案しました。		
全体のめあて	みんなでおたがいのがんばりやよさをみとめ合える会にしよう。		
決まっていること	日時:○月○日 ○時間目 場所:教室 やること:3つ		
役割	司会() () ノート記録() 黒板記録() ()		
話合いの順序	時間	気をつけること	用意するもの
1 始めの言葉 2 計画委員の紹介 3 議題の確認 4 提案理由 5 めあての確認 6 決まっていること	5 分	・聞きやすい声の大きさ、速さで言う。 ・自分のめあてをはっきり言う。 ・話し合う内容をクラス全員で確認する。 ・話合いの条件を確認する。 ・司会が言った後、全員で声に出して言う。	・学級会ノート ・学級会グッズ ・スケッチブック
7 話合い 柱1 「会で何をするか」	15 分	・黒板記録、ノート記録をとりながら進める。 ・時間を意識しながら進める。 ・短冊を使いながら進める。 ・提案理由にあっているかを確認しながら進める。	・短冊 ・タイマー
柱2 「会を盛り上げる工夫」	15 分		
柱3 「どんな係が必要か」	5 分		
8 決まったことの発表 9 ふり返り 10 先生のお話 11 終わりの言葉	5 分	・決まっていることを分かりやすく発表する。	

(3) 教師の指導計画

活動の計画	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】(評価方法)
1 はじめの言葉 2 計画委員の紹介 3 議題の確認 4 提案理由の確認 5 決まっていることの確認 6 話合いのめあての確認 (7 先生の話) 8 話合い 話し合うこと① 「会で何をするか」 話し合うこと② 「会を盛り上げるための工夫」 話し合うこと③ 「どんな係が必要か」 9 決まったことの確認 10 振り返り	・自分のめあてが言えるように事前に指導する。 ・提案者の思いや願いが伝わるように、キーワード化したものを掲示する。 ・共通理解をして話に入れるように、事前に掲示しておく。 ・提案理由の中のキーワードを押さえ、話合いの指針となるようにする。 ・うなずくことや発表している人を見ることなど話す人が発表しやすくなるように聞く態度を意識させる。 ・意見を分類したり整理したりする。 ・話し合うこと①は、「比べ合う」の段階から進められるよう、事前に短冊に書かせ、掲示しておく。 ・話合いがめあてや提案理由からそれたり、うまく進まなくなったりしたときは指導助言をする。 ・自信をもって発言できるようにノートに励ましや助言のコメントをしておく。 ・話し合うこと②は「出し合う」の段階から始めるが、事前に出ていた意見は短冊に書かせ、掲示しておく。 ・出された意見のイメージの共有化をする。 ・話し合うこと③は「出し合う」の段階から始めるが、事前に出ていた意見は短冊に書かせ、掲示しておく。 ・決定事項を明確にする。 ・良かった点や課題について自己評価し、友達の良かった点などについても相互評価できるように助言する。	◎理由と合わせて考えを発表したり、友達の意見を受け入れたりしながら合意形成を図ろうとしている。 【思・判・表】(観察) ◎友達の意見を聞き、よりよい話合いになるように考えている。 【態】(観察) ◎自分のことだけでなく、みんなのことを考えながら話し合ったこと

11 先生の話	・話の内容として ①合意形成したことへの価値付け や児童の称賛 ②今後の課題 ③計画委員へのねぎらい ④会への見通しと意欲付け 等を簡潔に述べる。	を振り返り、ノートに 記入している。【態】 (観察・学級会ノート)
12 おわりの言葉		

7 事後の活動

日 時	児童の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】(評価方法)
【○月○日(○)】	・決まったことを学級会コーナーに掲示する。	・決まったことを分かりやすく書くように助言する。	
【○月○日(○)～ ○月○日(○)】	・係ごとに準備をする	・係は必ず複数人で組むようにする。	◎合意形成をしたことをもとに協力して準備に取り組んでいる。【態】(観察)
【○月○日(○) ○校時】	・「2学期がんばったねの会」		◎会の目的を考え、めあてを意識しながら友達と協力して取り組んでいる。【思・判・表】(振り返りシート・観察)
【○月○日(○) ○校時】	・終了後、感想を記入する。 ・役割分担ごとに振り返りをする。	・自分の態度を振り返るとともに友達の良いところについても認められるように助言する。	

8 板書計画

話し合いの柱③ どんな係が必要か。	話し合いの柱② 会を盛り上げる工夫。	話し合いの柱① 何をするか。	議題 二学期がんばったねの会をしよう。	第○回 学級会

めあて みんなでおたがいのがんばりや よさを認め合える会にしよう。 決まっていること 日時 ○月○日 ○時間目 場所 教室 やること 三つ	今こうなっている たくさんの行事をみんな で協力して過ごせた	議題 二学期がんばったねの会をしよう。 提案理由
	こうすることで 認め合う活動、たくさん の人と関わる活動をす	
	こうしたい・こうなりたい 3学期によいスタート をしたい。より仲良く	

9 備考 在籍児童数 ○人